

◎函館大谷高等学校インターアクトクラブ最近の活動 鰐渕 達子

- 9月22日～23日 ライラ(札幌) 出席者3名 引率1名
- 24日 啄木小公園のプランターの花植え替え 参加14名
- 30日 おしまコロニー文化祭の手伝い 参加3名
- 10月14日 「函館清掃の日」の活動に参加
- 28日 「ボランティアの集い」に参加

(会報担当者：増山 正 委員長)

双葉印刷

〒040-0014 函館市中島町3-3
TEL(0138)53-7730 FAX(0138)56-4373

(広告掲載：西尾 昌一 会員)

◎ 10月24日出席報告

会 員	56名	出席率対象会員	54名
		出席規定免除会員	2名
当日出席	35名	当日欠席	19名
他クラブ出席	9名	出席合計	44名
出席率	81.48%		

・ テレフォンサービス(例会移動案内)電話 23 - 2377 番

次回・11月21日
プログラム

「新入会員卓話」

高橋 哲二 会員



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2001~2002年度 国際ロータリーテーマ
国際ロータリー会長 リチャード D. キング

人類が私たちの仕事 MANKIND IS OUR BUSINESS

薮下 義晴 会長テーマ 『楽しみと親しみのある出逢い・そして感動』



11月7日 函館大谷高校インターアクト顧問教師 鰐渕達子氏・松見修二 インターアクト委員長

《第1848回例会》 第18号 11月14日(水)

本日のプログラム

「夜間例会 兼 クラブアッセンブリー」

函館国際ホテル 午後6時30分

★会長 薮下 義晴 ★幹事 藤野 明信

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

2000~2001 〈第1847回例会〉第17号

11月7日の記録

◎司会 薮下 義晴 会長 ◎斉唱 君が代、奉仕の理想

◎ゲスト 函館大谷高等学校インターアクトクラブ 顧問教師 鰐淵 達子 氏

◎ビジター 函館R.C. 吉川孝信君、函館東R.C. 杉本武彦君、
函館五稜郭R.C. 能戸 彰 君

★誕生祝 小笠原会員(14日)、吉村会員(22日)

★結婚祝 成瀬会員(2日)、今井会員・椎谷会員(3日)、柴崎会員(9日)、
新 会員(17日)、千葉会員(21日)

◎会長報告 薮下 義晴 会長

- 12月5日に年次総会を開催いたします。
- 今年度の地区大会において永年100%表彰会員へ記念品の贈呈
25年 西尾会員 20年 伊藤会員 10年 清水会員

◎幹事報告 藤野 明信 幹事

- 次週の例会はクラブアッセンブリーを兼ねた夜間例会を開催致します。
- 他クラブ例会変更 11月16日函館五稜郭R.C.は夜間例会に変更となります。
- クリスマス家族会は12月19日に変更になりました。

◎親睦活動委員会 成田 豊 委員長

ニコニコBOX投入報告

藤野 幹事……月始めです。

大和 会員…… ”

高橋(初)会員…… ”

伊藤 会員…… ”

成田 会員…… ”

緒方 会員…… ”

久保 会員……月始めです。

鈴木 会員……BOXに協力。

金子 会員…… ”

森 会員…… ”

田畑 会員…… ”

吉村 会員…… ”

中川 会員…… ”

栗飯原会員…… ”

小笠原会員……今月は誕生月です。

増山 会員……会報の広告、皆様の所へ訪問しますのでご協力よろしくお願
い
します。

松見 会員……弁護士会館完成しました。インターアクト週間を記念して。

今井 会員……結婚記念日のお祝いありがとうございました。

増田 会員……ホールインワンの記念品頂き、ありがとうございました。

小池 会員……昨日、市亀田老人福祉大学第24回大学祭で記念講演をして来
ました。

◎「インターアクト週間に因んで」 インターアクト委員会 松見 修二 委員長
世界インターアクト週間によせて。

インターアクト創設の歴史は1960年に『新しい世界的計画』について話し合うため、オーストリア、ニュージーランド、プエルトリコ、シンガポール、アメリカから5人のロータリアンがR I本部に集まり、青少年の奉仕、高校生の奉仕活動について討議されました。

その結論として、ロータリーは地域社会と学校への奉仕、自国で国際理解の増進を計ることを目的にインターアクトの創設を決定しました。

インターアクトとロータリーの繋がりは、社会奉仕に主眼を置き、地区指導者グループと繋がりを保ち、外国の若者との扉を開くことにあります。

1962年11月5日に最初のインターアクトクラブが米国フロリダ州メルボルのロータリークラブによって設立されました。

(インターアクトの名称はインターナショナル・アクションに起因します。)

この日を記念して1999年から11月5日-11日までを『世界インターアクト週間』の祝賀行事が励行され、今年が3回目となります。

1963年には247クラブ、5年後の1967年には2000クラブ、10年後の1972年には70ヶ国で3000クラブとなりました。

2000-2001年度においては617の新クラブ発足し、現在は107ヶ国7700クラブ全世界に179,000名のインターアクトがおります。



2510地区では室蘭大谷、函館ラ・サール、札幌第一、北海、駒大岩見沢、登別大谷、札幌商業、札幌龍谷、静内高校、函館大谷、札幌山の手、の11クラブが有ります。

21世紀を担う新世代活性化のために、活力と創造力にあふれ、人生に広い視野を持つ若者(インターアクト)の育成にご協力ください。

インターアクトの目的と目標

◎目的

インターアクトの目的は、奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で相友に活動する機会を青年男女に与えることである。

◎目標

1. 建設的な指導力を養成し、自己の完成を計ること。
2. 他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践すること。
3. 家庭と家族の重要性に対する認識を涵養すること。
4. 個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養うこと。
5. 個人的成功のためにも、地域社会の改善のためにも、さらには団体としての業績を上げるためにも、各人が責任を負うことがその基本であることを強調すること。
6. すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を認識すること。
7. 地域社会、国家および世界の問題についての知識と理解を深める機会を提供すること。
8. 国際理解と全人類に対する善意を増進するために、個人として、また団体として、進むべき道を切り開くこと。